

## 平成 29年 死亡災害発生状況 (平成29年9月末速報値)

沖縄労働局

| 番号 | 所轄署 | 型 別         | 起因物別             | 業種別                 | 発生時期 | 年齢     | 労働者数    | 発 生 状 況  |
|----|-----|-------------|------------------|---------------------|------|--------|---------|--|
| 1  | 沖縄  | 交通事故(道路)    | トラック             | 警備業                 | 2月上旬 | 60歳代以上 | 50～99   | 公園内を軽トラックで警備巡回中、Uターンするため敷地外の村道に出たところ、軽トラックが縁石にぶつかって横転し、被災者が車外に投げ出されたもの。  |
| 2  | 那覇  | 崩壊、倒壊       | 建築物、構築物          | セメント・同製品製造業         | 5月上旬 | 50歳代   | 10～29   | 生コン工場において砂堆積ヤード付近でコンクリートミキサー車の始業前点検を行っていた労働者が突然倒れてきた砂堆積ヤードの擁壁に当たりはね飛ばされ死亡した。ヤード内ではトラクター・ショベルを使用して擁壁側に砂を積み上げる作業をしていた。             |
| 3  | 那覇  | 墜落、転落       | 屋根、はり、もや、けた、合掌   | 電気通信工事業             | 5月上旬 | 60歳代以上 | 1～9     | 平屋住宅に太陽光発電パネルを設置する工事で、最終チェックのため現場に訪れた被災者がなんらかの原因で高さ3mの屋上から墜落し負傷した。入院治療を続けていたが、翌月に死亡した。   |
| 4  | 沖縄  | 高温・低温の物との接触 | 高温・低温環境          | 警備業                 | 7月下旬 | 40歳代   | 100～299 | 建築現場において、下水管引き込み工事現場における公道の交通誘導を1人で行っていた警備員が、業務中にふらつき倒れ込んだため、救急搬送されたが、搬送先の病院で4日後に死亡が確認された。<br>【熱中症の疑い】                           |
| 5  | 沖縄  | 崩壊、倒壊       | その他の仮設物、建築物、構築物等 | その他の土木工事業           | 8月中旬 | 40歳代   | 10～29   | 敷地(駐車場)造成工事現場において、石積擁壁の石積み作業中に積み石が崩れ、石積みをしていた被災者が石の下敷きになり死亡した。   |
| 6  | 沖縄  | 墜落、転落       | トラック             | その他の廃棄物処理業          | 8月中旬 | 60歳代以上 | 1～9     | 清掃施設敷地内の道路において、粗大ゴミ回収の貨物自動車(ダンプトラック、最大積載量1.45トン)の荷台に労働者2名が乗車していたところ、右折する際に、被災者1名が荷台に積んであったテレビボードと共に荷台後方から転落したものの。                |
| 7  | 名護  | はさまれ・巻き込まれ  | 移動式クレーン          | 鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 | 9月下旬 | 50歳代   | 1～9     | 積載型トラッククレーンに積み込んだ鉄筋を1人で積み降ろしの為に、傾斜地に停車させて左側アウトリガーを張出し下降設置させた際、前方に約8度の下降傾斜地であったため、動きだしたクレーンのアウトリガーの前方に位置していた被災者がなぎ倒され、左後輪に轢かれたもの。 |
| 8  | 沖縄  | 高温・低温の物との接触 | 高温・低温環境          | 鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 | 7月下旬 | 40歳代   | 1～9     | 住宅新築工事現場において、擁壁の型枠建込み作業中にけいれんを起こし倒れ、病院へ搬送されて入院中であったが、2カ月後に死亡した。<br>【熱中症】   |